



小林初子議員

◇介護支援ボランティア制度について

【質問】介護保険制度における地域支援事業として、市町村の裁量で介護支援ボランティア活動を推進する事業を行うことが19年5月から可能となった。介護支援ボランティア制度とは、高齢者の介護支援ボランティア活動を評価した上でポイントを付与し、その高齢者の申し出によりポイントを換金して交付する活動である。制度の効果として、①ポイント制で介護保険料の軽減②地域貢献③ボランティア参加者の介護予防等があるが、この様な取り組みについて市の考えは。

◇肺炎球菌ワクチンの公費助成を

【市長】当市の介護保険財政の現状では難しい。集落サロンを中心に対処していきたい。

【質問】肺炎などの感染症を予防する為、肺炎球菌ワクチン接種の公費助成を自治体が増えている。対象者はワクチン接種を受けていない75歳以上及び64歳〜74歳で呼吸器等に慢性疾患があり医師が必要と認めたと人で、わが国では1回だけしか接種できない。市内のある70代肺気腫の方は自宅に訪れた市外の病院関係者から初めて肺炎球菌ワクチンの話を聞いて接種したとのことで、広報の必要性を訴えていた。市として肺炎球菌ワクチン公費助成の再度の検討をお願いすると共に広報による市民への周知も必要ではないか。

【部長】国の動向を見ながら市の検診や予防接種事業の中で優先度、重要度等について検討を深めていきたい。広報は進めていく。



◇期日前投票も投票日と同じ方法で

【質問】先の衆議院選挙の期日前投票所において、投票用紙が同時に3枚交付されたが、投票日と同じ方法で別々に交付ができるようにすべきではないか。

【選挙管理委員長】会場が狭いためできない。選挙事務の電算化の関係上不都合な部分が多く移動するのが困難。新たな場所の検討も努力していきたい。



上松永林議員

◇岳北四市村の合併について

【質問】庁内岳北合併研究会の動き及び合併についての考え方は。

【市長】岳北四市村は自立で進んでいる。今後は北信広域合併を指向したい。

◇本町通りアーケードの整備について

【質問】本町通りアーケード補修整備について市の考え方は。

【市長】22年度予算に調査費を計上したい。



本町通りのアーケード

◇行政と市議会の連携について

「地方分権」「地域主権」の時代に、真に、市に必要な施策や事業を実施し、本来の意味での「地方自治」を実現に向かせるため、飯山方式ともいえるべき、新たな市長と議会の連携を提案したい。

【質問】国が大きく変わろうとしている。地方も変わらなければならない。一般質問での議員からの提案が、現状では実施困難であっても、行政として必要な良い施策と判断した場合、その案件の実施検討を市長から議会に要請できるとしたらどうか。結果、実施となれば、行政と議会が連携して事に当たる事になる。協力して補助金確保に国や県と交渉したり、万が一法律に反する場合は議会が国と対決することになる。真の「地方自治」の姿と思うが。【市長】議会と行政の職権は違う。一般質問での議員の意見は意見として聞いておくが、すべてを実行することはできない。現実には国、県、地方自治体システムの中心にある。



坂原シモ議員

◇全国小中学校学力調査の結果について

【質問】過去2年間に指導改善された結果が成果として見えてきたか。飯山らしい学校教育の推進について具体的にどう進めていくのか。

【教育長】標準化得点では全国の平均と比較するとほぼ同じく、Bの問題についてはいくつかの学校で指導の改善が進み、効果を挙げている事例があったということも聞いている。良い部分は各学校へ広めたいと考えている。飯山らしい教育の点については早寝・早起き・朝ごはんなど生活習慣の確立に家庭への啓発や、家庭学習の時間を増やすなどこれから進めていく必要があると思う。

【質問】雇用状況と企業誘致の現状について。【市長】ハローワーク飯山

管内の求人倍率は依然として厳しいものがある。若干の回復の兆しが見えるものの、失業者数は前年比68%増の778人となっている。企業誘致については、戸狩工業団地へ進出するべく準備を進めているが、時期については確定していない。

他の企業についても数件の問い合わせ、現地視察があるものの景気回復に期待がかかっている。今後も状況を見る中で進進していきたい。

【質問】いいやま住んでみませんかの現状について。【市長】ふるさと回帰支援センターのホームページアクセス件数は年々増え、昨年は8万件を越えている。18年から20年の3年間の補助事業により、267人の移住者があった。人口の社会減では18年には300人であったが、20年には60人であった。

【質問】アスパラのくき枯れ対策と鳥獣被害対策について【市長】県・関係機関・JAと原因究明を行っている。現在では有効な手立ても無く、困惑している。今後

原因究明を一体となって推進していく。鳥獣被害対策については、集落全体での取り組みが必要である。



イノシシの被害を受けたメロン畑



委員会
審査報告

9月11日、14日、15日の3日間、各委員会にて付託された議案について審査が行われました。

総務委員会

総務委員会に付託された議案は、平成20年度飯山市一般会計歳入歳出決算の関係部分、特別会計決算案あわせて3件、一般会計補正予算の関係部分、特別会計の補正予算案あわせて2件、事件案件1件の計6議案でした。審査結果は、全議案すべて全員一致で原案のとおり認定又は可決すべきものと決しました。

陳情第10号「家族従業員・女性の人権保障のため「所得税法56条の廃止を求める意見書」採択を求める陳情」の審査については、現行の所得税法でも対応が可能という意見が多数あり、採決の結果、不採択にすべきものと決しました。なお、委員会審査の中で、総務委員会として飯山市消防団と懇談会を

行った経過が報告され、消防団の定数検討に際しては、地元消防団・各区の事情を十分に考慮され、地震や水害にも柔軟に対応できる、組織作りをお願いしたいこと。また、活性化センターの重要性をあらためて認識したので、活性化センターを地域活性化に役立てて欲しいとの意見がありました。

産業建設委員会

産業建設委員会に付託されました議案は、平成20年度一般会計決算の関係部分及び特別会計決算5件、平成21年度一般会計補正予算案の関係部分及び特別会計補正予算案5件、事件案1件の合計13議案でした。

審査結果は、全議案すべて全員一致で原案のとおり認定または可決すべき